

三浦半島巡り みさきまぐろきっぷの旅

城ヶ島も巡る

(東京都新宿区)

(東京都文京区)

なんといっても、昼食のマグロがまことに美味でした。

今回の日帰りの旅は、京浜急行企画の「みさきまぐろきっぷ」を利用しての三崎のマグロと三浦半島巡りです。

全員が、マグロの厚切りに堪能する、グルメ旅でした。

期間:2019年10月29日(火曜)日帰り

集合:品川・京浜急行改札口 8時45分

費用:みさきまぐろきっぷ 3,570円(品川乗車)
3,480円(横浜乗車)

天候:小雨、風ナシ

参加:13名 内非会員2名参加

リーダー:

経路: 品川09:10発(京急快速三崎口行) → 横浜 → 三崎口 → 京急バス 油壺マリンパーク; 施設入場券 → 三崎港 → 昼食; みさきまぐろきっぷ好みの店で → マルシェ; 土産 → 京急バス 城ヶ島; 海岸散策 → 京急バス三崎口 → 品川駅解散

みさきまぐろきっぷ 「京急のお得切符」を使用 往復乗車券と京急バスのフリー乗車券に加えて、まぐろまんぷく券(協定飲食店での昼食無料)、施設入場券がセット(今回は油壺マリンパーク入場)

マグロ漬け丼

お目当ての「みさきまぐろきっぷ」を、三崎漁港で昼食に充当しました。マグロの漬け丼が一番人気だそうなので、注文しました。厚切りのマグロ、赤身、中トロなどが、うまかったの一言に尽きました。



油壺マリンパーク

京急が運営する三浦市にある水族館です。イルカ・アシカのパフォーマンスや、ペンギンや相模湾の魚類、ホオジロザメの人の背丈の大口の骨など、見どころ満載でした。アジ、イサキ、タイ、サメなどが回遊する水槽が円形になっていて、その内側で魚の泳ぎを観察するのは、一興の趣でした。

地味ですが、クラゲのプカリプカリの遊泳、アオリイカのヒダの泳動、ウミウシの静止状態などなどがそれぞれユニークで見飽きないものでした。

イワトビペンギンの島では、岩の上での立ち姿の恰好がよいと思い、水の上での羽繕いは不思議な姿と感心し、その美しくない鳴き声を聞いて驚きました。

入場料1,800円との掲示がありましたが、なるほどそれだけの価値があるわいと納得しました。我々は、セット券があるので、入場無料でした。



城ヶ島

小雨は“生憎”ではなく、白秋の「城ヶ島の雨」の歌詞そのものの風情でした。城ヶ島の磯に、利休鼠の雨がふる・・・ということで、我々も城ヶ島の海岸に足を運びました。この海岸の隆起した地層は、海底で堆積した砂岩と泥岩の層が交互になっているままの状態が見られました。中学・高校の地学の巡検で、その昔観察したことを思い出しました。

海岸でのイベントは、S会員による「城ヶ島の雨」の歌唱があり皆も一緒に唄いました。♪

